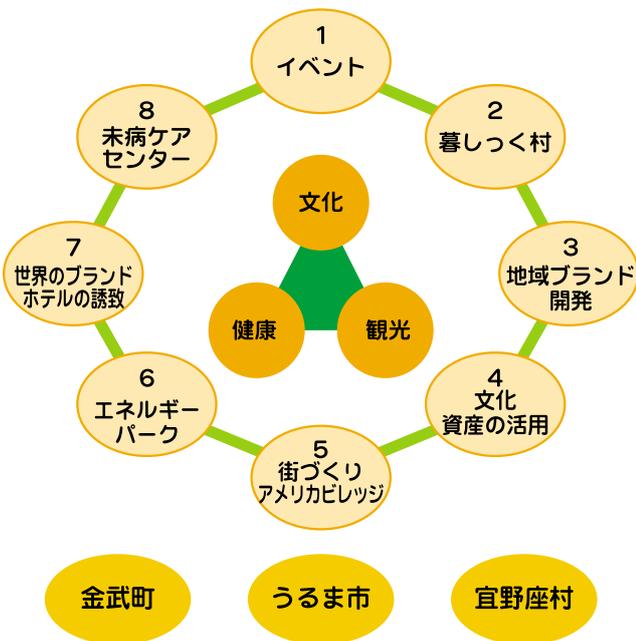


民間を中心とした戦略事業

優先順位をつけて具現化できることに取り組む



「どこよりもここだけ」

「得意業」

環金武湾化計画

環金武湾振興 QOL プロジェクト

(7つのリーディングプロジェクト)

1. サンライズ構想  
(うるま市を中心に健康長寿の研究・開発による地域振興)
2. 環境調和型まちづくり構想  
(うるま市を中心に循環型社会の形成)
3. 癒しとエコのまちづくり構想 (宜野座村)  
(健康増進施設の活用による地域振興)
4. 田園と川と海を活かしたウェルネスの里づくり  
(金武町)
5. ラグーンリゾート整備 (うるま市与那城地域)  
(中長期滞在型保養施設の整備)
6. ランドファーム構想  
(沖縄健康長寿ファーム・スローフードによる広域連携のまちづくり)
7. 共通事業  
(各種 CI 事業、周辺地域のためのインフラ・ネットワーク・環境整備各種施設整備)

さまざまな地域の取り組みは環金武湾周辺地域の「健康長寿ブランド」として育成され、地域振興を推進して、有効的な自立経済の基盤づくりへとつながっていきます。

環金武湾振興 QOLプロジェクトとは

平成14年から10年計画でスタートした環金武湾振興 QOL プロジェクトは、中・北部の東海岸にまたがる金武湾を囲むうるま市、金武町、宜野座村の3市町村が全国に先駆けて共同で提案している新しいかたちの総合的な広域地域振興策です。この振興策では、沖縄の地域特

性である「健康・長寿・美」を地域振興のテーマに、それぞれの市町村がすでに持っている有形・無形のさまざまな地域の資源を活かしながら、地域全体で人々の Quality Of Life (クオリティ・オブ・ライフ) の向上による充実した長寿社会の実現をめざしています。具体的には七つのリーディングプロジェクトと戦略事業があります。

みんなで地球温暖化防止活動

環金武湾地球温暖化対策地域協議会は、行政、事業者、NPO、各種団体、地域住民等が各地域の事情に応じた効果的な取り組みや参加メンバーの役割などについて協議し、地域密着型の対策を講ずることにより、業務や活動、日常生活における温室効果ガスの削減を図ることで地球温暖化防止に寄与する目的で設置されました。

今年度は、内閣府の委託事業として、「あやはしecoるねっさんず2008」を実施しています。

この事業は、家庭での「廃食用油」と「生ゴミ」の「リサイクル運動」や住民による「まちの美化運動」を通して、地域の海・干潟を保全し、住みよく美しいふるさとを世代を超えて伝えていく「エコ・マインド・コミュニティ」を形成することを目指しています。



「ふるさとクリーン活動」